

第1号様式

私道の現況調書

年 月 日

(あて先) 川 崎 市 長

提出者(代表者)

住 所 _____

氏 名 _____

電話番号 _____

工 事 施 行 箇 所	川崎市 区 町 丁目 番地先から		
	川崎市 区 町 丁目 番地先まで		
私道建設(舗装)経過年数	年	世 帯 数	世帯
工 事 内 容 (予 定)	幅 員	延 長	面 積
	m	m	m ²
※処理欄			

注 1 工事施行箇所の案内図及び配置図(公道との位置関係が分かるもの)を添付してください。

2 ※欄は、記入しないでください。

第1号様式の2

私道舗装助成金支給申請書

____年__月__日

(あて先) 川 崎 市 長

申請者 住所 川崎市 _____ 区 _____

氏名 _____ 印

電話番号 _____ () _____

川崎市私道舗装助成金支給規則第5条の規定により、次のとおり申請いたします。

工事施行箇所	川崎市 区 町 丁目		川崎市 区 町 丁目		番地先から 番地先まで		工 事 費
	対図番号	幅 員	延 長	面 積	構 造 路盤	表層	
		m	m	m ²	cm	cm	円
							円
							円
							円
							円
							円
							円
							円
計 ①							円
消費税額 ②							円
①+② 工事費 ③							円
③ 助成申請額							円
工事予定期間	年 月 日 から			年 月 日 まで			
工事請負者	住 所						
	氏 名 (社名)				電 話 ()		

第3号様式

誓 約 書

次のことについて誓約します。

舗装新設工事

1 私道舗装助成金支給申請に係る 舗装補修工事 は、私が責任を持って施行します。

階段補修工事

2 地元経費の負担及び土地関係諸権利については、私が責任をもって処理します。

3 工事完了後も一般交通の用に供されることについて、異議はありません。

____年__月__日

(あて先) 川 崎 市 長

申 請 者

住 所 _____

氏 名 _____ 印

※ 印鑑証明書を添付してください。

図面作成のポイント

○平面図作成例

- ・私道の形状がわかるもの
- ・縮尺は 1/100～1/500 ぐらいで、延長、幅員等が記入してあるもの。
- ・求積図と兼ねても構わない。
- ・申請する工種については、すべての工種名及び延長、面積等の数量を記載すること。

※申請書の数量と同じ数量を記載する。

(例：L形側溝 L=〇〇.〇m、舗装補修 A=〇〇m²)

○求積図作成例

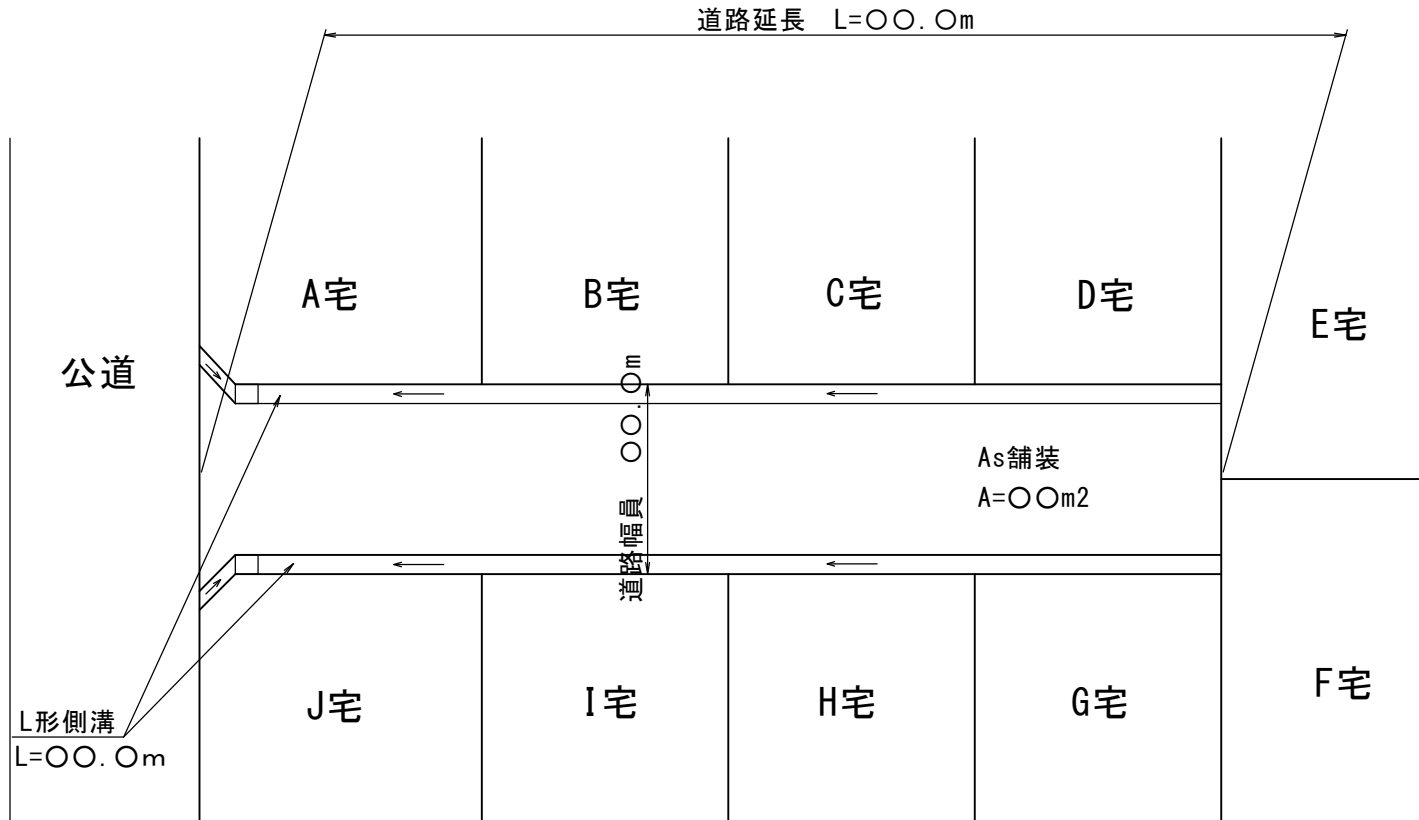
- ・求積方法はヘロンの公式、三斜求積等で行って構わない。
- ・必ず面積計算の根拠を添付すること。
- ・柵、マンホール、電柱等の舗装ができない箇所については控除し、その根拠も添付すること。

○横断面作成例

- ・完成の断面を記載すること。
- ・舗装材料、路盤材料について記載すること。

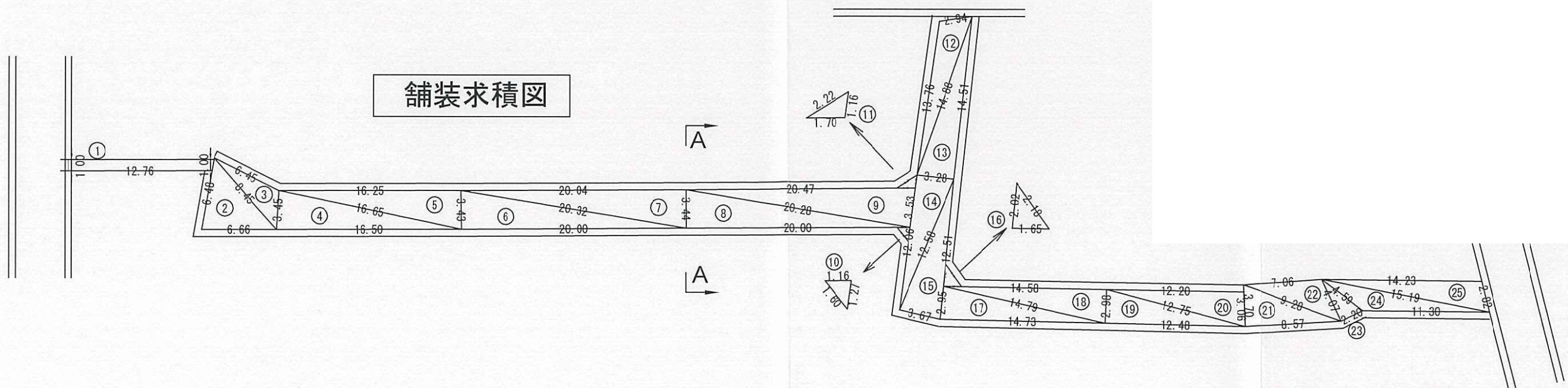
平面図作成例

縮尺 1 : 000

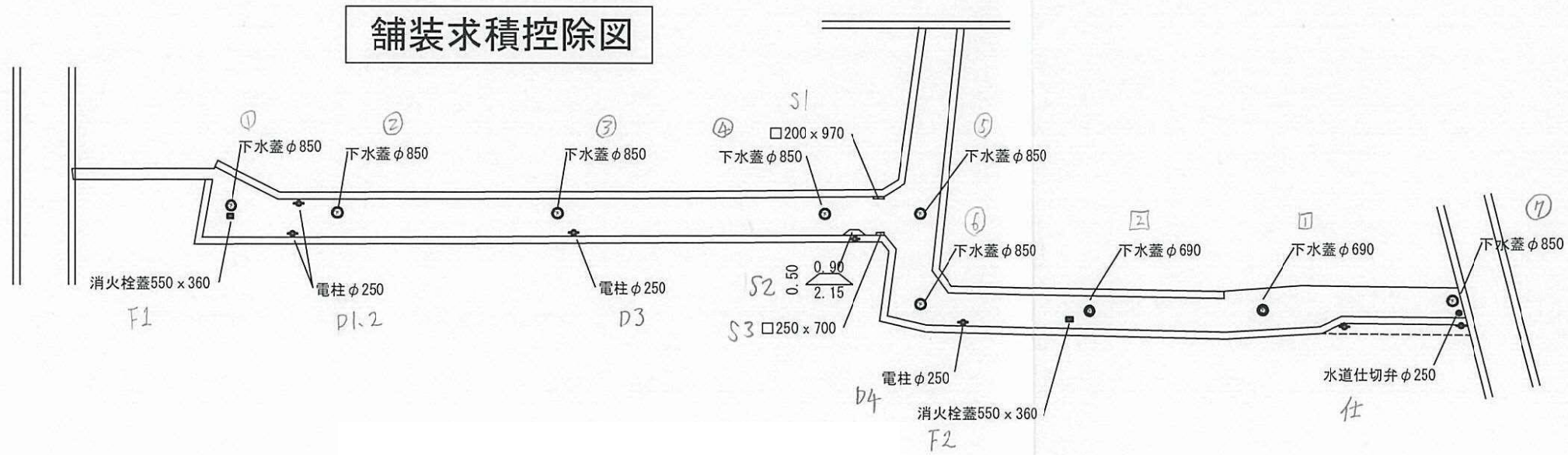


求積図作成例

舗装求積図



舗装求積控除図



舗装面積計算書

No	W1 a	W2 b	L c	A	計算方法
①	1.00	1.00	12.76	12.76	台形計算
②	6.48	6.66	8.45	21.25	台形計算
③	8.45	6.45	3.45	10.18	台形計算
④	3.45	16.50	16.65	28.40	台形計算
⑤	16.65	16.25	3.43	27.86	台形計算
⑥	3.43	20.00	20.32	34.29	台形計算
⑦	20.32	20.04	3.44	34.46	台形計算
⑧	3.44	20.00	20.28	34.39	台形計算
⑨	20.28	20.47	3.53	35.77	台形計算
⑩	1.16	1.27	1.60	0.72	台形計算
⑪	2.22	1.70	1.16	0.97	台形計算
⑫	2.94	13.76	14.88	19.36	台形計算
⑬	14.88	14.51	3.28	23.79	台形計算
⑭	3.28	12.06	12.58	19.77	台形計算
⑮	12.58	12.51	3.67	22.76	台形計算
⑯	2.02	2.18	1.65	1.58	台形計算
⑰	2.95	14.73	14.79	21.65	台形計算
⑱	14.79	14.58	2.98	21.71	台形計算
⑲	2.98	12.48	12.75	18.58	台形計算
⑳	12.75	12.20	3.06	18.63	台形計算
㉑	3.70	8.57	9.28	15.85	台形計算
㉒	9.28	7.06	4.07	13.49	台形計算
㉓	4.07	2.20	4.59	4.47	台形計算
㉔	4.59	11.30	15.19	15.89	台形計算
㉕	15.19	14.23	2.82	19.41	台形計算
控除					
○	下水蓋	φ850x7枚	$A=(0.85/2)^2 \times 3.14 \times 7=$	-3.97	
□	下水蓋	φ690x2枚	$A=(0.69/2)^2 \times 3.14 \times 2=$	-0.74	
■	消火栓蓋	□550x360x2枚	$A=0.55 \times 0.36 \times 2=$	-0.39	
S1	側溝1	□200x970	$A=0.20 \times 0.97=$	-0.19	
S2	側溝2	台形900/2150x500	$A=(0.90+2.15)/2 \times 0.50=$	-0.76	
S3	側溝3	□250x700	$A=0.25 \times 0.70=$	-0.17	
b	電柱	φ250x4本	$A=(0.25/2)^2 \times 3.14 \times 4=$	-0.19	
仕	仕切弁蓋	φ250x1枚	$A=(0.25/2)^2 \times 3.14 \times 1=$	-0.04	✓
合計				471.54	✓

横断図作成例

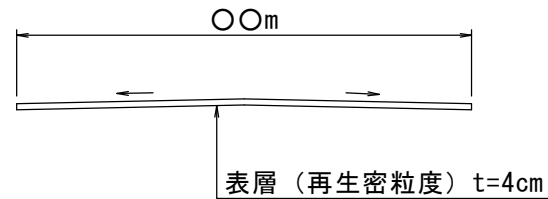
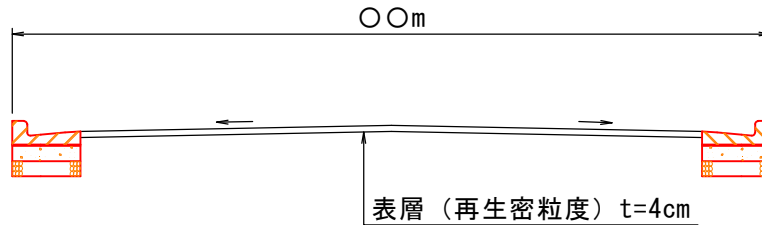
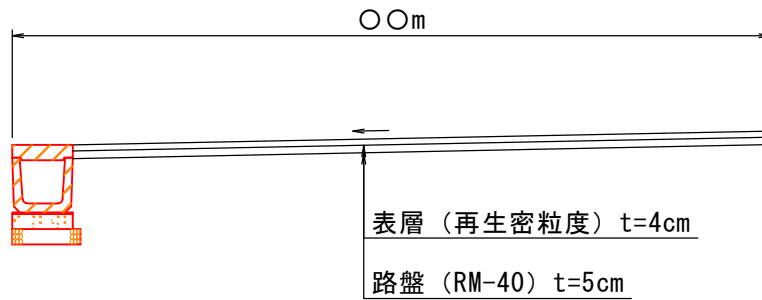
縮尺 1 : ○○

舗装新設・舗装補修工事の構造基準

舗装新設：表層（再生密粒度 厚 4 cm）

路盤（RM-40 厚 5 cm）

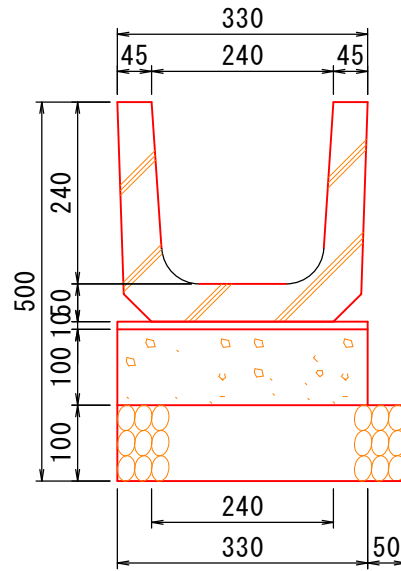
舗装補修：表層（再生密粒度 厚 4 cm）



構造図作成例 (1)

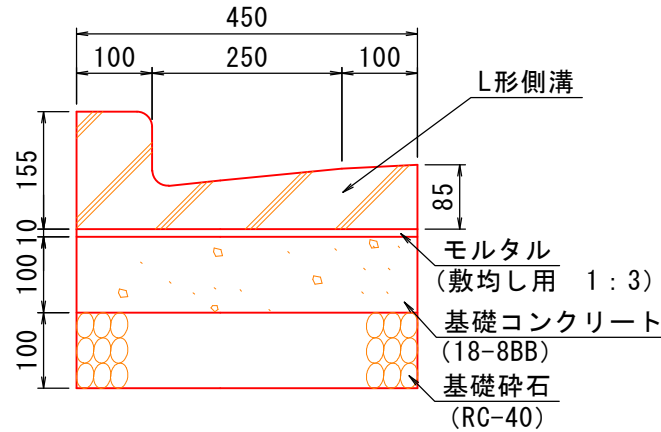
U形側溝 (240)

縮尺 1 : 10



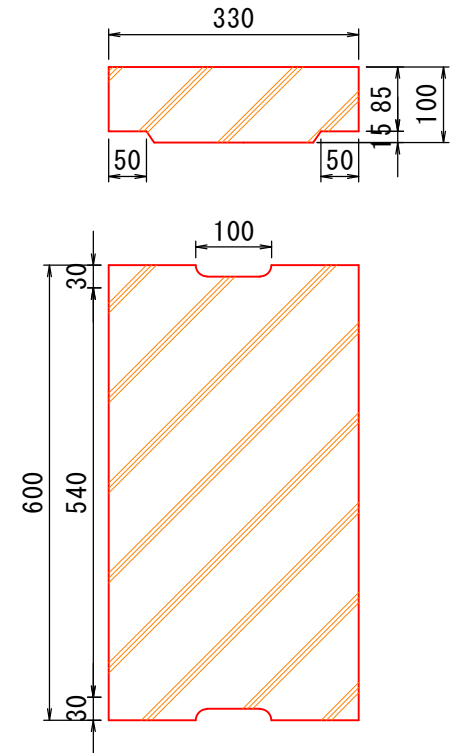
L形側溝 (250B)

縮尺 1 : 10



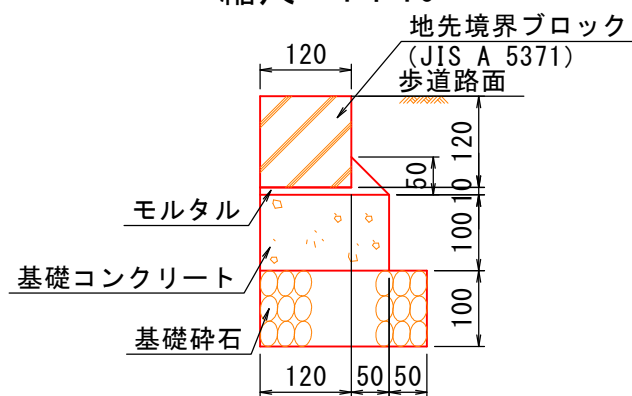
U形用甲蓋 (240・2種)

縮尺 1 : 10



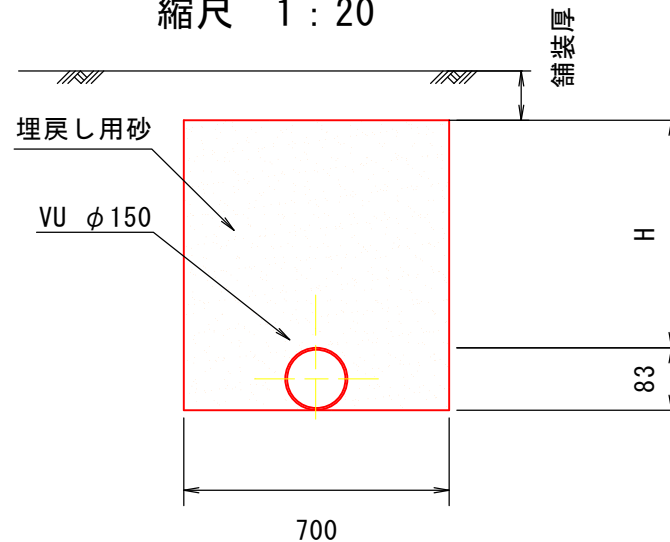
地先境界石 (120)

縮尺 1 : 10



取付管工 (φ150)

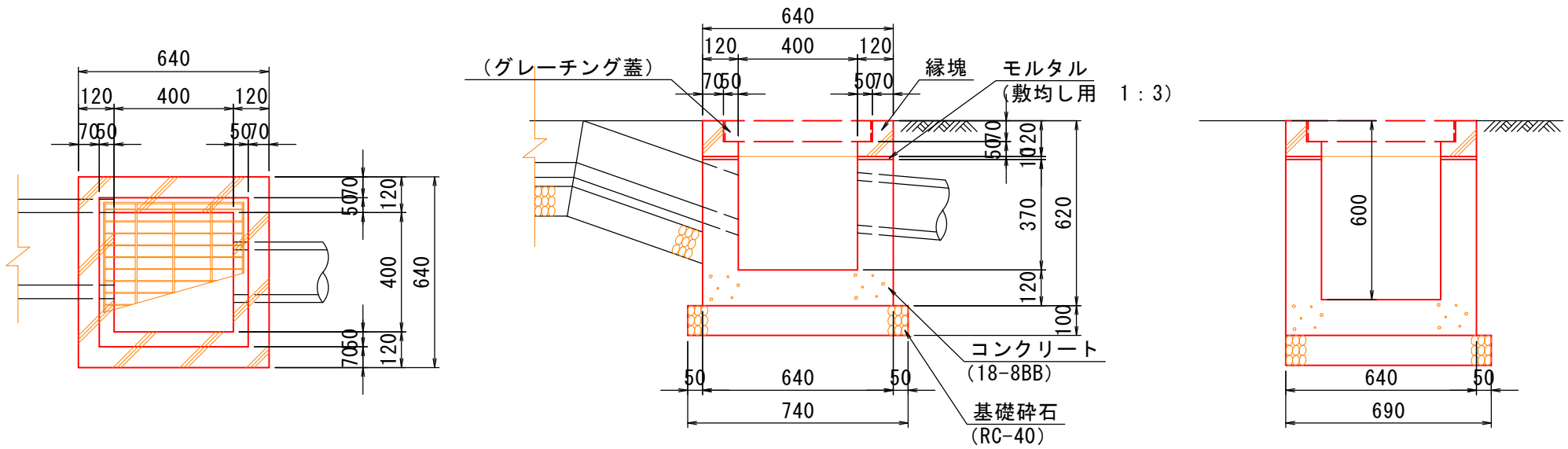
縮尺 1 : 20



構造図作成例（2）

縮尺 1 : 20

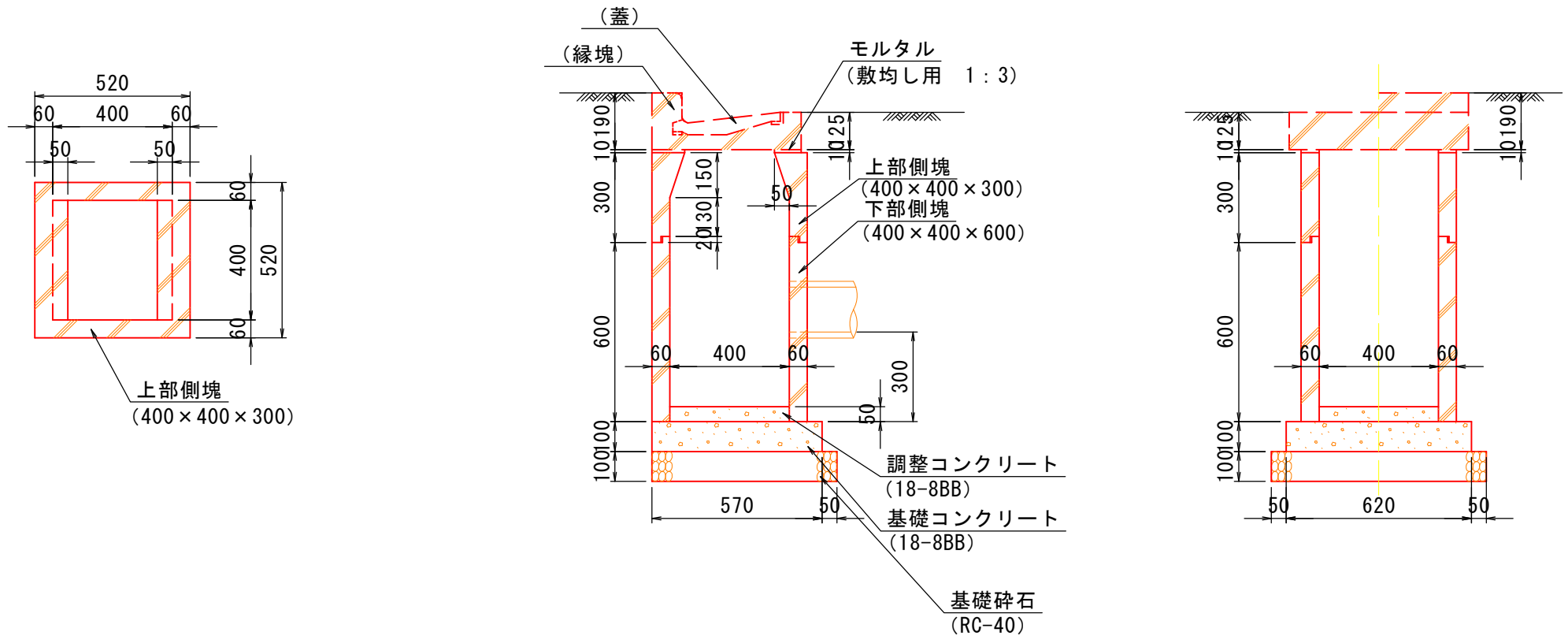
U形用集水桝（400）



構造図作成例 (3)

縮尺 1 : 20

L形用集水桝 (300)



プレキャストU型側溝-上ぶた式U形側溝-官民境界部
(1種・2種)-B()-H()

大分類

中分類

小分類

作成年度

01

PUS

002

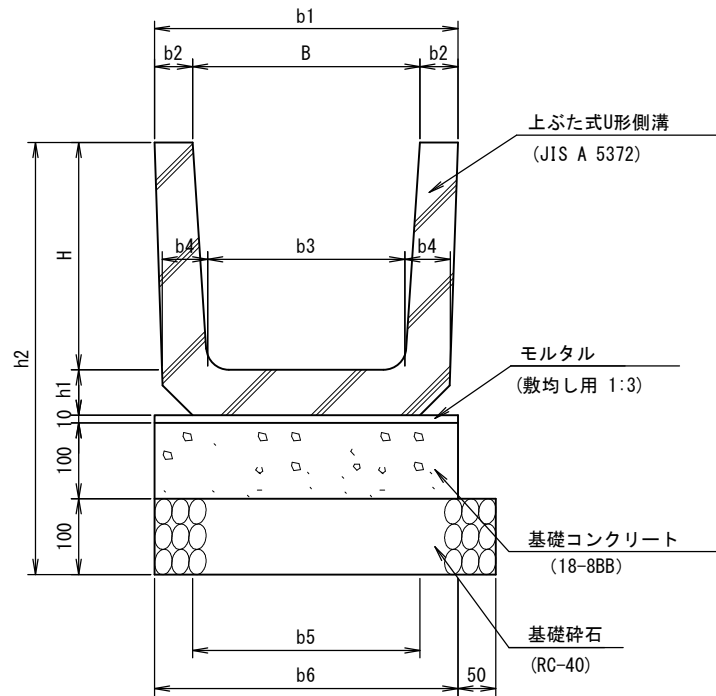
H27.10

排水施設類

プレキャストU型側溝

プレキャストU型側溝-上ぶた式U形側溝-官民境界部-(1種・2種)

S=1/10



寸法表

記号	寸法(mm)										
	B	H	b1	b2	b3	b4	b5	b6	h1	h2	L
PUS-002-1種-B180-H180	180	180	250	35	170	40	190	250	40	430	600
PUS-002-1種-B240-H240	240	240	330	45	220	50	240	330	50	500	600
PUS-002-1種-B300-H300	300	300	400	50	260	60	300	400	60	570	600
PUS-002-1種-B360-H360	360	360	460	50	310	65	360	460	65	635	600
PUS-002-1種-B450-H450	450	450	560	55	400	70	430	560	70	730	600
PUS-002-1種-B600-H600	600	600	740	70	540	80	600	740	80	890	600
PUS-002-2種-B180-H180	180	180	250	35	170	40	190	250	40	430	600
PUS-002-2種-B240-H240	240	240	330	45	220	50	240	330	50	500	600
PUS-002-2種-B300-H300	300	300	400	50	260	60	300	400	60	570	600
PUS-002-2種-B360-H360	360	360	460	50	310	65	360	460	65	635	600
PUS-002-2種-B450-H450	450	450	560	55	400	70	430	560	70	730	600
PUS-002-2種-B600-H600	600	600	740	70	540	80	600	740	80	890	600

材料表

(10m当り)

記号	上ぶた式U形側溝	基礎碎石	型砕	基礎コンクリート	モルタル	参考質量
	JIS A 5372	RC-40		18-8BB	敷均し用1:3	
	(個)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m ³)	(kg/個)
PUS-002-1種-B180-H180	16.5	3.0	1.0	0.25	0.03	33
PUS-002-1種-B240-H240	16.5	3.8	1.0	0.33	0.03	53
PUS-002-1種-B300-H300	16.5	4.5	1.0	0.40	0.04	77
PUS-002-1種-B360-H360	16.5	5.1	1.0	0.46	0.05	97
PUS-002-1種-B450-H450	16.5	6.1	1.0	0.56	0.06	130
PUS-002-1種-B600-H600	16.5	7.9	1.0	0.74	0.07	204
PUS-002-2種-B180-H180	16.5	3.0	1.0	0.25	0.03	33
PUS-002-2種-B240-H240	16.5	3.8	1.0	0.33	0.03	53
PUS-002-2種-B300-H300	16.5	4.5	1.0	0.40	0.04	77
PUS-002-2種-B360-H360	16.5	5.1	1.0	0.46	0.05	97
PUS-002-2種-B450-H450	16.5	6.1	1.0	0.56	0.06	130
PUS-002-2種-B600-H600	16.5	7.9	1.0	0.74	0.07	204

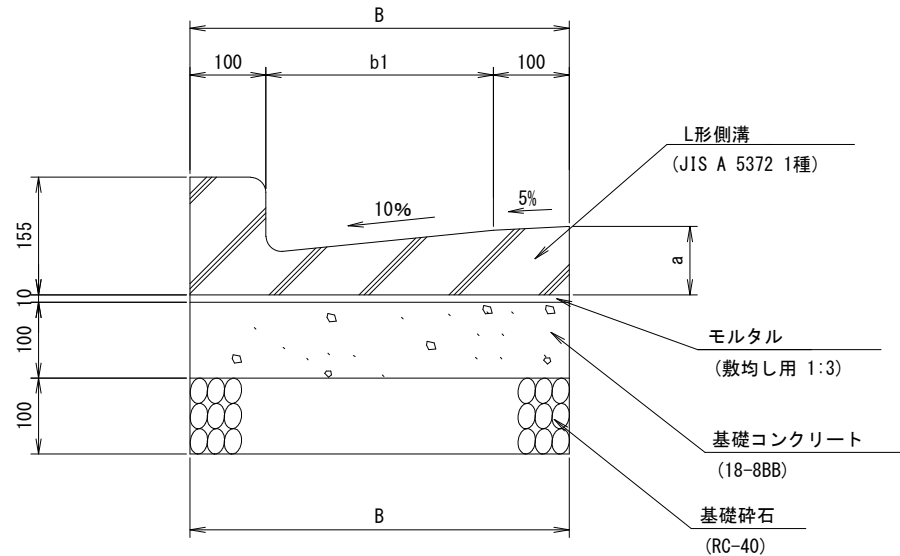
<適用条件>

- 1種は、主として歩道、2種は、車両(後輪一輪32kN以下)が隣接して走行することはまれて、走行することはあっても一時待機などで低速で走行するような場所に、車道に平行して設置する。
- プレキャストU型側溝はJIS A 5372 附属書E 上ぶた式U形側溝(1種・2種)を使用する。
- 蓋付きとする場合は、PUS-007(側溝蓋-(1種・2種))を使用する。
- 片側に官民境界がある場合に使用する。

<注意事項>

- 参考質量については、目安とする。

L型側溝-プレキャスト-B()	大分類	中分類	小分類	作成年度
	01	LS	011	H27.10
	排水施設類	L型側溝	L型側溝-プレキャスト	S= -



寸法表

記号	寸法 (mm)		
	B	a	b1
LS-011-B450	450	85	250
LS-011-B500	500	90	300
LS-011-B550	550	95	350

材料表

材料 記号	(10m当り)						参考質量 (kg/個)
	L型側溝 JIS A 5372		基礎碎石 RC-40	型枠	基礎コンクリート 18-8BB	モルタル 敷均し用1:3	
	規格	(個)	(m ²)	(m ²)	(m ³)	(m ³)	
LS-011-B450	250B	16.5	4.5	1.0	0.45	0.05	56
LS-011-B500	300	16.5	5.0	1.0	0.50	0.05	62
LS-011-B550	350	16.5	5.5	1.0	0.55	0.06	69

<適用条件>

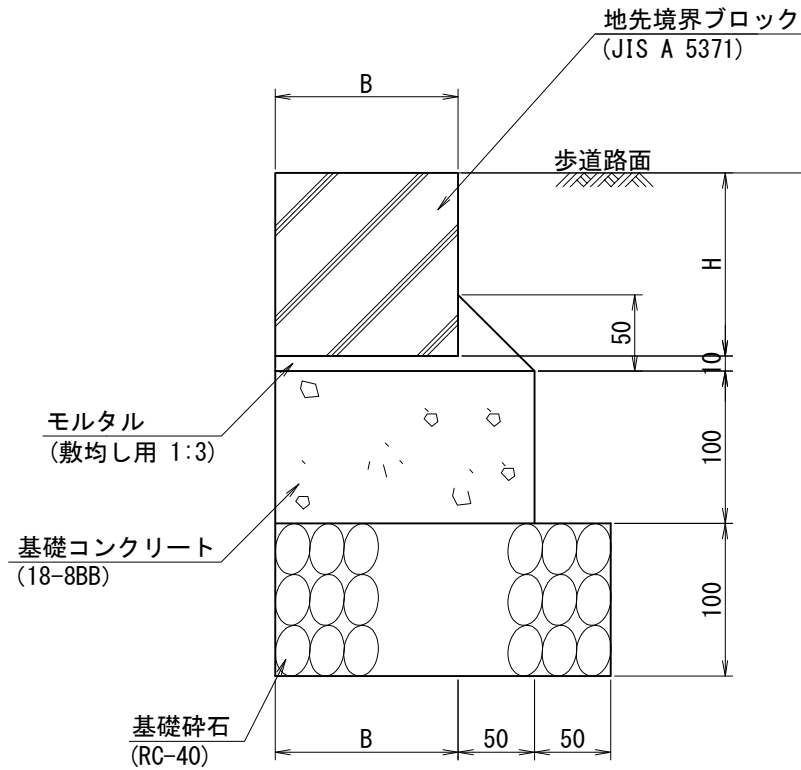
- (1) 車両(後輪一輪50kN以下)が隣接して走行することはまれで、走行することがあっても一時待避などで低速で走行するような場所に、車道に平行して設置する。

<注意事項>

- (1) 参考質量については、目安とする。

地先境界ブロック-B()-H()

大分類	中分類	小分類	作成年度
07	CB	001	H27.10
ブロック類	地先境界ブロック	地先境界ブロック	S=1/5



寸法表

記号	寸法 (mm)	
	B	H
GB-001-B120-H120	120	120
GB-001-B150-H120	150	120
GB-001-B150-H150	150	150

材料表

(100m当り)

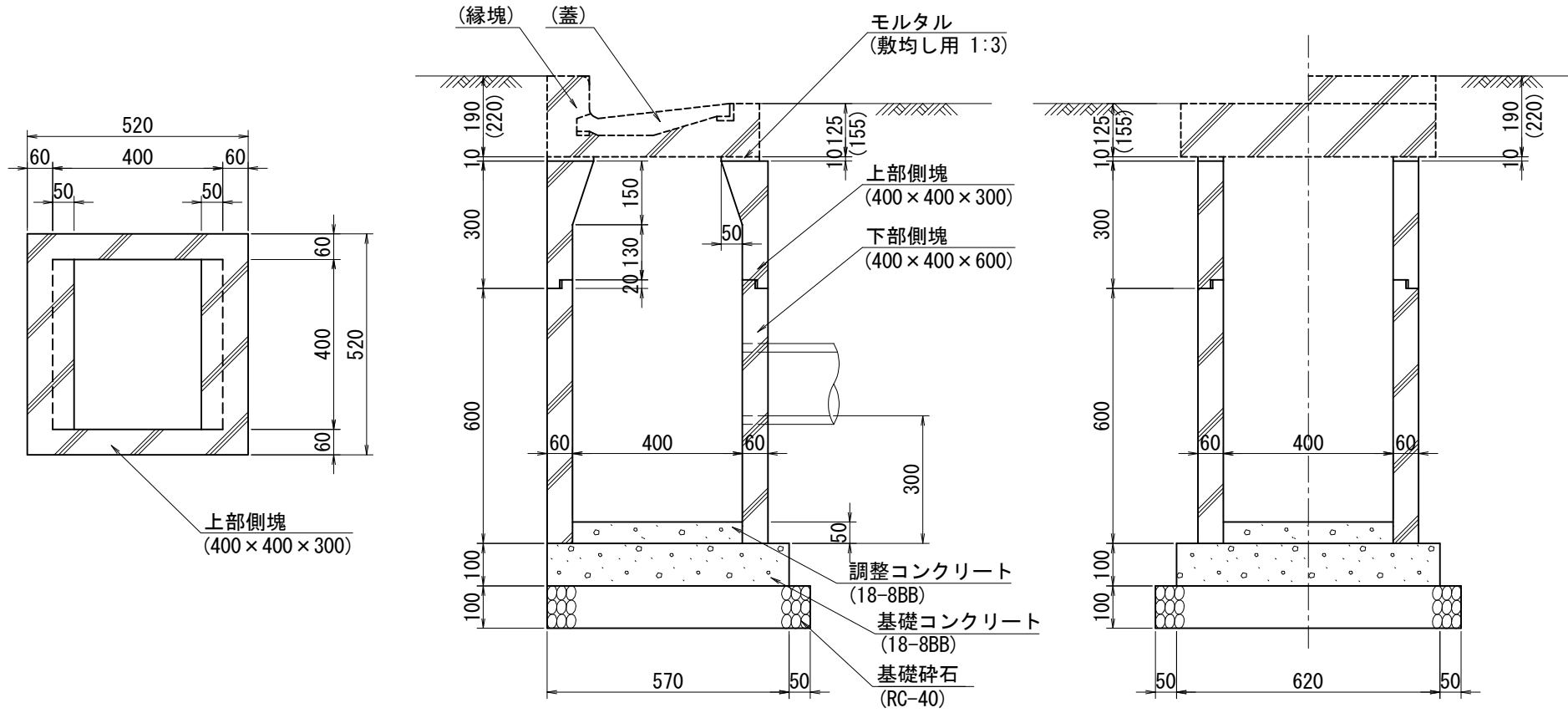
記号	材料	地先境界ブロック		基礎碎石	型枠	基礎コンクリート	モルタル	参考質量 (kg/個)
		JIS A 5371		RC-40		18-8BB	敷均し用 1:3	
		規格	(個)	(m2)	(m2)	(m3)	(m3)	
GB-001-B120-H120	120×120×600	165.0	22.0	20.0	1.7	0.25	19	
GB-001-B150-H120	150×120×600	165.0	25.0	20.0	2.0	0.28	24	
GB-001-B150-H150	150×150×600	165.0	25.0	20.0	2.0	0.28	31	

<注意事項>

(1) 参考質量については、目安とすること。

プレキャスト集水桝-L型用

大分類	中分類	小分類	作成年度
01	PSM	001	H27.10
排水施設類	プレキャスト集水桝	プレキャスト集水桝-L型用	S=1/15



材料表

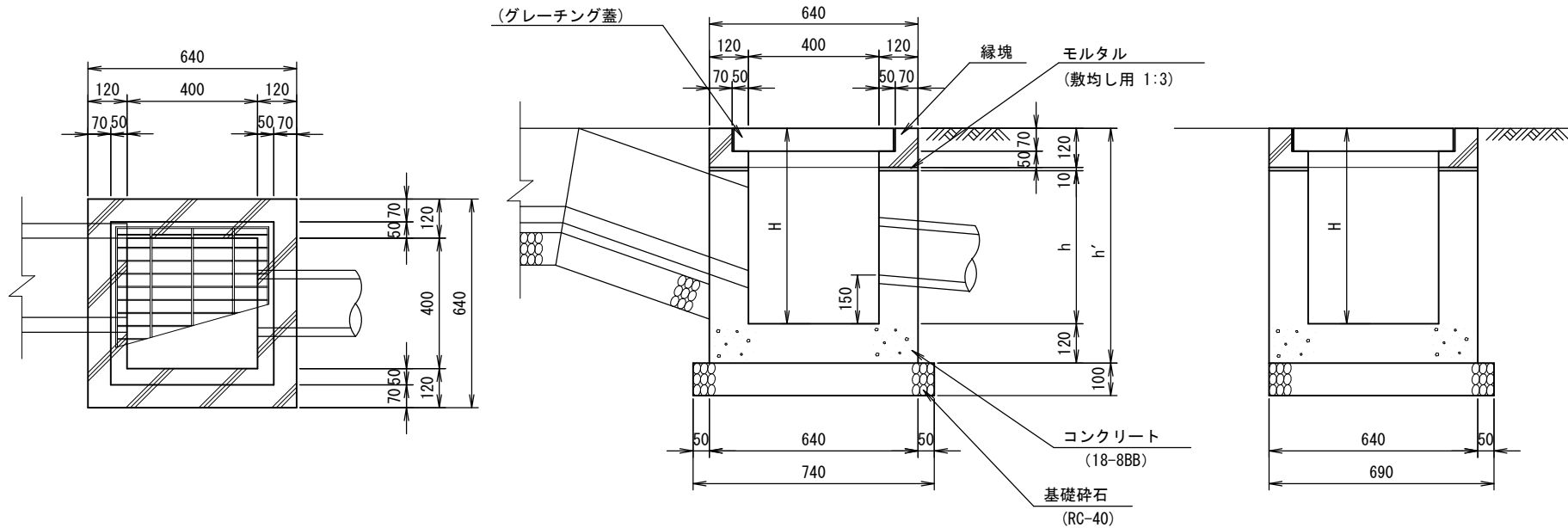
記号	材料		基礎砕石 RC-40 (m2)	型枠 (m2)	基礎コンクリート		調整コンクリート 18-8BB (m3)	モルタル 敷均し用1:3 (m3)	参考質量	
	上部側塊 400×400×300 (個)	下部側塊 400×400×600 (個)			18-8BB (m3)	18-8BB (m3)			上部側塊	下部側塊
PSM-001	10	10	4.5	2.4	0.35	0.35	0.01	93	159	

(10箇所当り)

- 〈適用事項〉
 (1) 蓋および縁塊は、SM-007(铸铁蓋・縁塊)、SM-008(グレーチング蓋・縁塊)を使用する。
- 〈注意事項〉
 (1) 標準図集は、SM-007(铸铁蓋・縁塊)を使用した場合を示す。
 (2) ()内数値は、SM-008(グレーチング蓋・縁塊)を使用した場合を示す。
 (3) 調整コンクリートは現地状況に応じて別途考慮する。
 (4) 参考質量については、目安とする。

集水樹-U型用-400用-官民境界部-H()

大分類	中分類	小分類	作成年度
01	SM	002	H27.10
排水施設類	集水樹	集水樹-U型用-400用-官民境界部	S=1/20



寸法表

記号	寸法 (mm)		
	H	h'	h
SM-002-H500	500	620	370
SM-002-H550	550	670	420
SM-002-H600	600	720	470
SM-002-H650	650	770	520
SM-002-H700	700	820	570
SM-002-H750	750	870	620
SM-002-H800	800	920	670
SM-002-H850	850	970	720
SM-002-H900	900	1020	770
SM-002-H950	950	1070	820
SM-002-H1000	1000	1120	870
SM-002-H1050	1050	1170	920
SM-002-H1100	1100	1220	970
SM-002-H1150	1150	1270	1020
SM-002-H1200	1200	1320	1070

材料表

(10箇所当たり)

記号	材料						参考質量 (縁塊) (kg/個)
	640×640×120 (個)	基礎砕石 RC-40 (m2)	型枠 (m2)	コンクリート 18-8BB (m3)	モルタル 敷均し用1:3 (m3)		
SM-002-H500	10	5.1	18.5	1.4	0.03	56	
SM-002-H550	10	5.1	20.5	1.5	0.03	56	
SM-002-H600	10	5.1	22.6	1.7	0.03	56	
SM-002-H650	10	5.1	24.7	1.8	0.03	56	
SM-002-H700	10	5.1	26.8	1.9	0.03	56	
SM-002-H750	10	5.1	28.9	2.0	0.03	56	
SM-002-H800	10	5.1	30.9	2.2	0.03	56	
SM-002-H850	10	5.1	33.0	2.3	0.03	56	
SM-002-H900	10	5.1	35.1	2.4	0.03	56	
SM-002-H950	10	5.1	37.2	2.5	0.03	56	
SM-002-H1000	10	5.1	39.3	2.7	0.03	56	
SM-002-H1050	10	5.1	41.3	2.8	0.03	56	
SM-002-H1100	10	5.1	43.4	2.9	0.03	56	
SM-002-H1150	10	5.1	45.5	3.0	0.03	56	
SM-002-H1200	10	5.1	47.6	3.2	0.03	56	

<適用条件>

(1) 片側に官民境界がある場合に使用する。

<注意事項>

- (1) 取付のため、躯体壁を削孔する場合は、コンクリート体積から控除すること。
- (2) 参考質量については、目安とする。

私道舗装新設工事・舗装補修工事・階段補修工事着手届

____年 ____月 ____日

(あて先) 川 崎 市 長

工事施行者 住 所 _____

氏 名 _____ 印

工事着手年月日		年	月	日			
助成承認年月日	年	月	日	工事完了の期限	年	月	日
認定工事費	円	支給承認額	円				
私道の所在地及び番地							
工事請負人住所				氏 名			

第4条第1項関係

年 月 日

実績報告書

(あて先) 川崎市長

工事施行者 住所 _____
氏名 _____ 印

年 月 日付け川崎市指令建道施第 号で支給承認を受けた工事が完了したので、川崎市私道舗装助成金支給要領第4条第1項(1)の規定により次のとおり報告します。

- 1 私道の所在地及び番地 : _____
2 工事完了年月日 : _____
3 助成実績(別添とすることも可)
①工事請負業者 : _____
②市内中小の別 : 市内中小企業 ・ その他 (該当する方に丸)
③助成対象工事に要した経費 : _____ 円

4 添付書類

- (1) 請求書(写し)
(2) 2者以上の市内中小企業者の見積書(写し)
(3) 2者以上の市内中小企業者から見積りを徴取し難い事由がある場合は、見積りが行えないことに係る理由書

(注1) 市内中小企業者の定義

中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項各号のいずれかに該当し、**市内に主たる事務所又は事業所を有する者**(原則として川崎市内に登記簿上の本店がある企業)

※ただし、個人事業主については住所が川崎市内にある者

(注2) 必要な記入欄・添付書類

助成金の額が1,000,000円を超えるとき: 全ての欄を記入、4を添付。

〃 超えないとき: 1、2、3①を記入、4(1)を添付。

第4条第1項関係

道路公園センターへの提出日を
記入して下さい。

年 月 日

私道舗装助成金支給承認通知
書の日付・文書番号を記載し
て下さい。

実績報告書

私道舗装助成金支給申請書の工事施行
者の住所・氏名を記載して下さい。

(あて先) 川崎市長

工事完了届の工事完了年
月日を記入して下さい。

工事施行者

住所

氏名

印

実印

年 月 日付け川崎市指令建道施第 号で支給承認を受けた工事が完了したので、
川崎市私道舗装助成金支給要領第4条第1項(1)の規定により次のとおり報告します。

私道舗装助成金申請書の工事施行箇所を記載して下さい。

1 私道の所在地及び番地 :

2 工事完了年月日 :

3 助成実績(別添とすることも可) 私道舗装助成金申請書の工事請負業者名を記載して下さい。

①工事請負業者 :

②市内中小の別 : 市内中小企業 ・ その他 (該当する方に丸)

③助成対象工事に要した経費 : 円

4 添付書類

(1) 請求書(写し) 必ず、請求書の金額を記載して下さい。

(2) 2者以上の市内中小企業者の見積書(写し)

(3) 2者以上の市内中小企業者から見積りを徴取し難い事由がある場合は、見積りが行えないことに係る理由書

(注1) 市内中小企業者の定義

中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条第1項各号のいずれかに該当し、市内に主たる事務所又は事業所を有する者(原則として川崎市内に登記簿上の本店がある企業)

※ただし、個人事業主については住所が川崎市内にある者

(注2) 必要な記入欄・添付書類

助成金の額が1,000,000円を超えるとき: 全ての欄を記入、4を添付。

〃 超えないとき: 1、2、3①を記入、4(1)を添付。

私道舗装助成金支給要領第4条3項ただし書きで省略できる場合を除き、誓約書【第4条第1項関係】(写し)を添付すること。